



平成 27 年 12 月 15 日

各 位

会 社 名 日産自動車株式会社
代表者名 取締役社長 カルロス ゴーン
(コード番号 7201 東証第 1 部)
問合せ先 IR 部 常務執行役員 田川丈二
(TEL 045-523-5523)

日産、ルノーとのアライアンスを強化

当社は、添付のとおりプレスリリースを公表いたしましたので、お知らせします。

以 上

2015年12月15日

日産、ルノーとのアライアンスを強化

日産自動車株式会社(本社:神奈川県横浜市西区、社長:カルロス ゴーン)は11日、ルノーの持ち株および議決権に関して議論されたルノーの取締役会を受けて、以下の通り副会長兼チーフ・コンペティティブ・オフィサー(CCO)の西川廣人の声明を発表しました。

「日産、ルノー、そしてフランス政府が、当社の経営の自主性を担保し、アライアンスの将来を守る結論に達したことを嬉しく思います。

いかなる経営判断においても、我々は両社及びそれぞれの従業員、株主、そして地域社会の長期的な利益を最優先に考えています。今回もそれを成し遂げたと信じており、この結果をたいへん嬉しく思っています。」

今回の合意は下記条件により、将来にわたりアライアンスの成功を担保します。

- ルノーにおけるフランス政府の二倍の議決権は2016年4月1日付で維持される。また、フランス政府とルノーとの間で締結される契約により、ルノーはフランス政府の議決権を17.9%に制限するが、株主総会において通常より高い定数となった場合には最大で20%まで拡大される。
- 日産はルノーの議決権を有しない。
- 日産は、同社の経営判断に対してルノーによる不当な干渉を受けた場合、ルノーへの出資を引き上げる権利を有する。

さらに西川は次のように語りました。「本件については、日本政府、日産の従業員、パートナー、そしてルノーの従業員と経営陣の皆様の力強いご支援をいただきました。厚くお礼申し上げたいと思います。ルノーと日産の信頼関係は、ゴーンCEOの力強いリーダーシップにより築き上げられたことは言うまでもありませんが、さらに将来に向けて一歩前進したともいえるでしょう。

当社の、アライアンスに対する強い決意に、揺るぎはありません。今回の合意は、当社の利益にとって最善の内容であると固く信じております。今日の決定で日産とアライアンスは次の段階に進んでいきます。」

以上

お問い合わせ先:
日産自動車株式会社 グローバルコミュニケーション本部
Tel:045-523-5521(企業)/5553(商品)/5520(IR)
www.nissan-newsroom.com/JP/(プレス情報)
www.nissan-global.com/JP/IR/(IR情報)

読者からのお問い合わせ・ご相談は「お客さま相談室」
0120-315-232(携帯・PHS対応)
9:00-17:00(年末年始を除く)
お問い合わせ・ご相談内容につきましては、お客さま対応や
品質向上のために記録し活用させていただきます。